

令和元年度行政評価 施策評価シート (平成30年度実績)

施策名 下水道整備の推進

施策コード	060302
-------	--------

1. 施策の担当	
主管課	上下水道局 経営総務課
関係課	下水道整備課

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第6章 心地よく、くつろぎを感じるまちづくり (快適・憩い)	節 第3節 上下水道
	施策	下水道整備の推進	

基本方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>雨水の整備については、面整備に重点を置き、市内の浸水区域を解消します。</li> <li>汚水の整備については、下水道経営健全化計画に基づき、人口普及率の向上を図るとともに累積赤字を解消します。</li> </ul>

現況と課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>下水道は、暮らしに必要不可欠なライフラインです。また、公共用水域の水質保全に果たす役割も重要になっています。</li> <li>公共下水道雨水整備について、主要な幹線管渠の整備率は90%以上に達しており、今後は、この雨水幹線に雨水を集水するよう、面整備 (枝線の整備) を行う必要があります。</li> <li>公共下水道汚水整備に係る人口普及率は、39.9% (平成30年度末) と府内でも最低水準にあり、早急な整備が求められています。下水道事業会計の健全経営の範囲で、人口普及率の向上を図るよう事業を進めていきます。</li> <li>下水道事業特別会計は、公営企業会計への移行に向け、平成30年度に水道事業会計からの長期借入れにより、累積赤字を解消しました。</li> </ul>

施策目標
対象 (誰を、何を、どこを)
市民
意図 (どのような状態にしたいのか)
快適で衛生的な生活ができる。

3. 市民ニーズ							
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
満足度 (偏差値)	18.9						35.6
重要度 (偏差値)	60.4						62.7

4. 施策にかかるコスト								
	単位	H29決算	H30決算					
コストの内訳	人件費	千円	47,715	45,883				
	事業費		195,593	222,187				
	フルコスト		243,308	268,070				
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0				
	府支出金		0	0				
	市債		0	0				
	その他		18,835	19,417				
	一般財源1 (=フルコスト-特定財源)		224,473	248,653				
	一般財源2 (=直接事業費-特定財源)		176,758	202,770				

5. 施策の成果指標							
① 成果指標 1		下水道処理 (汚水) 人口普及率					
項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元計画	R2計画
目標値	35.1	36.0	36.8	37.3	37.8		
実績値	35.3	36.3	37.4	38.4	39.9		
達成度	100.57	100.83	101.63	102.95	105.56		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		
下水道整備の進捗状況を人口に占める割合で表した指標で、下水道の普及状況が把握できます。(総人口に対して、公共下水道を利用することができる人口の割合)		平成21年度から年間の整備量を人口普及率で1%/年の増加を目標として設定している。健全化計画の変更により、平成23年度以降は0.5%/年程度の人口普及率を目標としている。			当初の目標値は年1.0%増ですが、23年度より事業量の縮小により、25年度の人口普及率は目標に届かなかったが、平成26年度以降は達成することができた。		

② 成果指標 2		雨水整備率					
項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元計画	R2計画
目標値	38.2	38.2	38.3	38.4	38.9		
実績値	38.2	38.3	38.4	38.8	38.9		
達成度	100.0	100.26	100.26	101.04	100.0		
指標設定の根拠			目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景		
下水道認可面積に占める雨水整備済面積の割合を表した指標で、雨水（浸水対策）の整備状況が把握できます。			雨水整備計画に合わせ、平成23年度以降は0.1%/年の増加を目標として設定している。平成27年度・28年度は雨水整備面積が極少なため、整備率には反映していない。		H30年度は計画どおりに目標を達成することができた。		

6. 施策の事後評価			
	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
一次評価 (担当課による評価)	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) <b>4</b>	本市の下水道事業は、当初は浸水対策等の「雨水」事業を中心に事業進捗してきたため、「汚水」の人口普及率については、府内でも最低レベル（下から2番目）の進捗状況となっている。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) <b>1</b>	H30年度市民アンケート調査では満足度(偏差値)が35.6となり、H24調査に比べ上昇した。重要度(偏差値)も62.7とH24調査に比べ微増しており、今後も満足度を上げる必要がある。 本市においても下水道は必要不可欠なライフラインとなりつつあると言える。また、衛生的な快適さを求め、市民の要望等も多い。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) <b>1</b>	経営健全化計画期間中は、事業量の増額が期待できないため、これに伴う普及率の向上についても、微増の状態が続くことが予想される。
	合計点	(10点中) <b>6点</b>	
	総合評価	<b>C</b>	経営健全化計画は順調に進捗しているが、引き続き、事業費の抑制及び収入の確保に努め、下水道整備を推進し、普及率の向上を目指す。
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)		<b>B</b>	人口普及率の向上、雨水整備の着実な推進に努めること。
三次評価 (理事者による評価)		<b>B</b>	汚水人口普及率の向上、浸水対策の推進に努めること。

7. 施策を構成する事務事業						
	予算コード	事務事業名	H30年度決算額			一次評価
			人件費	事業費	一般財源	
1	01039800	排水施設管理事業	16,765	42,673	42,670	B
2	04070020	下水道普及事業	9,706	4,368	3,992	B
3	04070050	管渠維持管理事業	5,294	10,336	10,336	A
4	04070060	ポンプ場維持管理事業	14,118	164,810	145,772	B
合計			45,883	222,187	202,770	